【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和4年10月11日(2022.10.11)

【公開番号】特開2022-89829(P2022-89829A)
【公開日】令和4年6月16日(2022.6.16)
【年通号数】公開公報(特許)2022-108
【出願番号】特願2022-45696(P2022-45696)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ 31/048(2014.01)
Ｃ０９Ｋ 3/10(2006.01)
Ｃ０８Ｋ 5/3435(2006.01)
Ｃ０８Ｋ 5/14(2006.01)
Ｃ０８Ｌ 23/16(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ 31/04 ５６０
Ｃ０９Ｋ 3/10 Ｚ
Ｃ０８Ｋ 5/3435
Ｃ０８Ｋ 5/14
Ｃ０８Ｌ 23/16

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月30日(2022.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コア層の一方の面又は両面にスキン層が積層されてなる多層フィルムである封止材シートであって、
密度０．８６５ｇ／ｃｍ^{3}以上０．９００ｇ／ｃｍ^{3}以下のポリエチレンをベース樹脂とし、
架橋剤と、
ヒンダードアミン系耐光安定剤と、を含有してなる太陽電池モジュール用の封止材シートであって、
前記ポリエチレンは、炭素数３のαオレフィンを６ｍｏｌ％以上２５ｍｏｌ％以下の割合で含有してなる、エチレンとα－オレフィンとの共重合体であって、
前記架橋剤は、活性酸素量が８．５％以上１５．００％以下で１時間半減期温度が１２５℃以上１４５℃以下であり、前記封止材シートの樹脂成分中における含有量が０．２質量％以上０．５質量％以下であって、
前記ヒンダードアミン系耐光安定剤は、分子量が２０００以上であり、Ｎ－Ｈ型又はＮ－Ｒ型のヒンダードアミン系耐光安定剤であって、前記封止材シートの樹脂成分中における含有量が０．１質量％以上０．５質量％以下であり、
前記封止材シートは、全体として、ＪＩＳ－Ｋ６９２２－２により測定した１９０℃、荷重２．１６ｋｇにおけるＭＦＲが、５ｇ／１０分以上２５ｇ／１０分以下であり、且つ、前記スキン層の前記ＭＦＲが、前記コア層の前記ＭＦＲよりも高い、
太陽電池モジュール用の封止材シート。
【請求項２】

前記ポリエチレンは、炭素数８以上のαオレフィンを含有しない請求項１に記載の封止材シート。
【請求項３】
前記ポリエチレンは、炭素数３のαオレフィンを含有し、炭素数が３ではないαオレフィンを含有しない請求項１に記載の封止材シート。
【請求項４】
前記架橋剤が、パーオキシケタール類又はジアルキルパーオキサイド類である請求項１から３のいずれかに記載の封止材シート。
【請求項５】
ゲル分率が０％以上１０％以下である請求項１から４のいずれかに記載の封止材シート。
【請求項６】
ゲル分率が０％である請求項５に記載の封止材シート。
【請求項７】
請求項１から６のいずれかに記載の封止材シートと、ガラス基板とが対面する態様で積層されている太陽電池モジュール。